

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

p-プロモフェノールのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号

7 B 7 8 5 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.203「魚類毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

- 1)被験物質： *p*-プロモフェノール
- 2)暴露方式： 半止水式 (24時間毎に試験液の全量を交換)
- 3)供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4)暴露期間： 96時間
- 5)試験濃度 (設定値)： 対照区, 1.00, 2.00, 4.00, 8.00および16.0mg/L(公比; 2.0)
- 6)試験液量： 5.0L
- 7)連数： 1 容器/濃度区
- 8)供試生物数： 10尾/濃度区
- 9)試験温度： 24±1℃
- 10)照明： 16時間明/8時間暗
- 11)被験物質の分析： H P L C 法

結 果

- 1)試験液中の被験物質濃度： 測定濃度の設定濃度に対する割合はすべての濃度区において±20%以内であった。したがって、結果の算出は設定濃度に基づいて行った。
- 2)96 時間の半数致死濃度 (LC50)： 8.73mg/L
(95%信頼区間： 4.00mg/L~16.0mg/L)